

美原走ろう会 会報

2025年 第2号

美原走ろう会会長
発行責任者 川田 孝夫
編集責任者 藤本 和典

7年ぶりの一泊研修旅行は大山

美原走ろう会の40周年企画として伊勢路を走って以来、実に7年ぶりの一泊研修が復活します。コロナ禍以降、何度も計画はしましたが旅費の高騰で断念してきました。昨年から旅費の積立をはじめ実施にこぎつけました。

令和7年度美原走ろう会定時総会

一泊研修復活！美原マラソンは課題残す

令和7年度活動事業計画

ここ数年活動事業計画に大きな変化はありませんでしたが、今年度は一泊研修旅行の実施と美原マラソン&駅伝大会の準備と運営に重点を置く内容となりました。

運営を担う役員・幹事の更改

川田会長、穂満副会長、原本副会長、書記藤本の3役は変更ありません。会計・監査も変更なしですが監査役の藤原さんが暫く休会となり池田さんに代行をして頂く方向となります。

釜野顧問が引退宣言

発足当時から47年間、美原走ろう会を支えてきて頂いた釜野顧問ですが、現在81歳でもあり、美原マラソン&駅伝大会に10回の区切りがついたことで引退を決意されました。その功績を称え感謝の気持ちを込めて名誉顧問という名で名簿には残したいと考えています。



候補は色々出ましたが鳥取県へ

計画では早朝峠を出発、金剛山より高い大山連峰の弥山に登ります。弥山は標高1,709m。登山口近くの宿に宿泊し、翌日は鳥取のもう一つの名所となる境港の水木しげるロード散策です。米子空港は別名“鬼太郎空港”と呼ばれていて、JR境港線では鬼太郎のおやじ列車が走っています。予定日は7/12-13です。

地方創生で先進的な取組も

大山の麓の大山町は「子ども・子育て支援事業計画」で有名で若い世帯が増加している街です。美原区の参考になれば。

美原マラソン開催について

令和7年度活動事業計画の柱となっているのが12月の美原マラソン&駅伝大会開催でした。昨年、事前準備から関わり開催にこぎつけたものの、釜野顧問引退後の準備・運営体制がイメージできず、総会での議論では答えが出ず終わりました。

令和6年度事業実績の会計報告

昨年の美原走ろう会の収支は年会費を6,000円に上げたり、大きな支出が無かったことで若干繰越増で締めることができました。年4回発行の会報印刷及び郵送に掛かる費用が20,000円弱掛かっており活動費用の大きな項目となっています。

第10回美原マラソン&駅伝収支

マラソンの部163人、駅伝の部18チーム(延べ90人)、合計253人の参加で、参加費で170,100円の収入、補助金20,000円、駐車料金と前年繰越金を合わせて227,821円に事業収入に対し、193,828円の支出となり、次回繰越金33,993円となりました。前年繰越と同程度の繰越です。

Official Report

4/6 美原走ろう会定時総会



令和7年度定時総会が4/6、舟渡池での朝練後、9時から美原体育館会議室で開催されました。11名の出席者でした。

4/13 チャレンジ山岳マラソン



葛城山から金剛山のダイヤモンドトレイルで繰り広げられる山岳マラソンが4/13に開催され、池田さんが完走。3名が千早園地で中継点支援で給水等に回りました。なんとか天候はもってくれました。

4/29 2025堺シティマラソン



健康マラソン4.8kに楠原さん、10k50歳以上に井上さんが出場。井上さんは完走ならず。納得の走りでしたが残念！

5/18 ツアー・オブ・ジャパン堺



国内最大の自転車レースの第1ステージとして毎年堺で始まり、美原走ろう会は自主警備で参加しました。八田顧問は役員として第3レースのスターターも担われました。皆さまお疲れ様でした。

Topics

収支の採算が取れない
南大阪駅伝大会を中止

かつては美原陸協で走った大会

67回の歴史を誇る南大阪の伝統駅伝大会が今年の2/16に第68回を開催できず幕を閉じました。現在は富田林のPL教団敷地内を周回するコースですが、40年程前は滝畑ダム湖周回コースでした。南河内地区市町村教育委員会主催で、当時は美原町だったので美原町陸協チームとして参加していました。

美原区陸上競技協会が支えてきたものとは

美原走ろう会であり陸上競技協会でもあり

NPO法人美原体育協会を離脱

美原町陸上競技協会、美原区陸上競技協会と、市町村合併時に堺市陸上競技協会に吸収されることなく、NPO法人美原体育協会加盟団体として活動してきましたが、この度、美原体育協会を退会することとなりました。

第11回美原マラソン大会中止

きっかけは今年12月開催を計画していた第11回美原マラソン&駅伝大会の開催準備及び運営が難しくなったことです。主催はNPO法人美原体育協会ですが、実質は小中学校の先生方、JRCみはらの父兄及び美原走ろう会などボランティアによるものでした。その大半の責務を釜野顧問が担っていました。

美原区陸上競技協会を背負ってきた美原走ろう会の二足の草鞋も負担が大きく、退会と合わせて美原区陸上競技協会を閉じ、主催する美原マラソン大会も中止することとしました。

東京一極集中の人口問題と同様

第68回南大阪駅伝大会中止の理由は参加申込者が少数のため規定によるものでした。開催予定日2/16は京都マラソン、翌週の2/24は大阪マラソンと関西ビックイベントの真ただ中でした。泉州国際マラソンも開催時期が重なりオンラインマラソンに変わってしまいました。

消滅可能性自治体の地方創生を

世間を騒がせている消滅市町村の話題同様、大会も地域の魅力創出に掛かっています。

活気ある街“美原区”目指して

少子高齢化、人口減少問題を抱える地域には、子供達が安心して暮らせる街づくりが欠かせません。美原区がある限り走ることを通じて街の魅力を感じて頂ける活動が続けることが、陸上競技協会がなき後の美原走ろう会ではないでしょうか。

美原区への貢献で感謝状

八田顧問が長年勤められてきた自治連合会会長を勇退されることになりました。堺市長からの表彰、連合会からの感謝状が授与されました。ご苦労様でした。

ただ、美原体育協会の理事長だけは続けて頂くことになったようです。楽しく走ることを通じてもっと美原区に元気を!!



Schedule 6・7・8・9-12

- 7/12-13 1泊研修旅行 鳥取方面大山登山
- 8/25 二上山登山
- 9/7 美原体協理事長杯選手権大会開会式
※参加しないかもしれません
- 9/28 申告タイムレース&懇親会
- 10/13 第51回堺市民オリンピック
- 12/14 美原マラソンは閉幕
※運営が維持できず断念しました

Information

◆新しい帽子のデザイン決定

美原走ろう会の新しい帽子は普段使いと大阪を強調。色はブラックとし、布地の帽子に文字はしっかり刺繍します。写真右の神原さんがデザインしてくれました。

走ってるからできた
支援してきた活動

大勢の方の支えで走れること

4月の定時総会の日程調整で毎年前後するのがチャレンジ山岳マラソンの中継点支援です。美原走ろう会の枠は5名ですが金剛山千早園地中継点だけでも20名近くのスタッフがいます。美原走ろう会の役割は毎年給水係で、山水を20ℓタンク10数個に入れて運ぶことから始まります。腰が抜けそうになりますが、到着するランナーが紙コップの水を口にすると全員「おいしい」と言ってくれます。

警備で嫌な苦労も経験の一つ



毎年5月には大仙公園を舞台に日本最大の自転車ツアーレースが開催され、コースの自主警備を行っています。3km程度の周回コースなので総勢100名以上のボランティアで安全を死守しています。しかし道路封鎖しての開催に文句を言う方が必ずいます。「なんで向かいに渡れへんの!?!」「あと10分したら渡れますから」と耐えています。